

千歳線新駅設置工事の着手について

北広島市（以下、「市」）と北海道旅客鉄道株式会社（以下、「JR北海道」）は、まちづくりの一環として北海道ボールパーク F ビレッジへの利便性向上と F ビレッジ及び周辺エリア一体における価値魅力の向上を図ることを目的に、北海道ボールパーク F ビレッジ隣接地の千歳線に新駅を設置する工事に着手します。

■工事概要

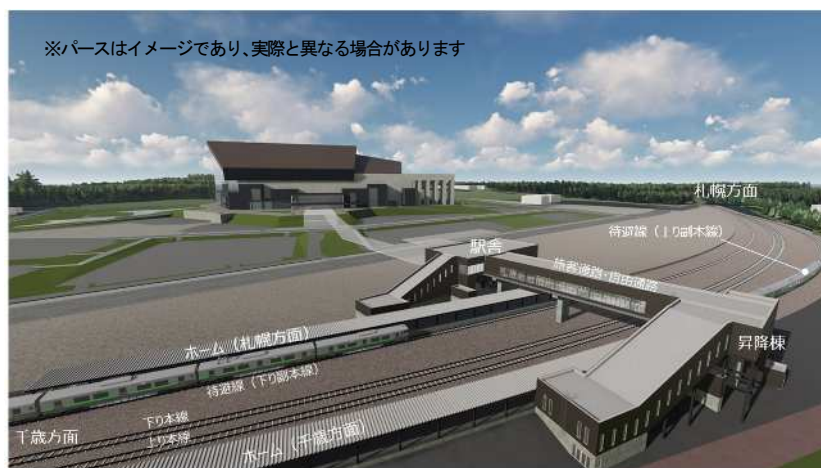
- ① 工事位置 千歳線上野幌駅・北広島駅間（北広島市共栄）
- ② 新駅位置 札幌駅から約20km、北広島駅から約2km、エスコンフィールド HOKKAIDO（以下、「球場」）まで約300m（徒歩約4分）
- ③ 駅構造等 ホーム：相対式2面4線（6両対応）、駅舎：3階建（改札は3階）
- ④ 協定工事費 約80億円（総工事費 約90億円）
※総工事費は、協定工事費の他、北広島駅構内線路新設（JR北海道施策）、設計費（実施中）、用地取得費等を含んだ費用となります。
- ⑤ 工事期間 令和10年度まで（開業は令和10年夏頃を予定）
※1 着工は工事施行協定書の締結後、準備期間を経て本年秋頃を予定しています。
※2 開業時期は、建設資材・機器の調達遅れ等により工事が予定通りに進まない場合が想定されることから、今後、JR北海道が工事の進捗に併せて決定し、お知らせします。



新駅位置図

■その他関連工事

新駅改札口前には歩行者用デッキを設置（市にて整備）



新駅イメージ

■駅舎デザインの概要

千歳線新駅について、駅舎デザインが決定しましたので以下の通り概要をお知らせします。デザインについては、JR北海道で素案を作成し、市と意見交換を重ねて決定しました。

○ 駅舎デザインコンセプト

「幕開けの駅」～北海道ボールパークF ビレッジの始まりの場所となる駅舎～

○ 駅舎デザインのポイント【外観】

- ・北海道ボールパークF ビレッジの始まりとなる「玄関口」を表現した「大門」と、訪れた来訪者を温かく迎え入れる「小門」をデザインしています。
- ・「大門」は都会的スケールでの街の始まりを表現し、「小門」はヒューマンスケールで温かく迎えることを表現しています。
- ・市が整備する新駅改札口前の歩行者用デッキの上には大屋根の設置も検討しています。



○ 駅舎デザインのポイント【内観】

- ・ライン照明を用いて温かみある門をつくることで「灯」が中へと温かく「いざなう」空間を目指します。
- ・来訪者が「灯」のゲートをくぐることで、北海道ボールパーク F ビレッジへ向かう高揚感やワクワク感を演出します。
- ・改札空間は北広島市の木であるカエデの木を用いて構成することで、木のぬくもりが来訪者を温かく迎え入れ、北海道ボールパーク F ビレッジへと優しくいざないます。
- ・球場のエントランスにも使用されている赤レンガを駅舎の内壁に用いることで北海道ボールパーク F ビレッジの始まりの場所を強調します。



■新駅建設プロジェクトへの応援

市の“究極の地方創生”の取組であります新駅建設プロジェクトに対し、多数の方々のご賛同をいただき、プロジェクト実現に向けふるさと納税を賜りたく、心からお願い申し上げます。詳しくは、以下のURLのページをご覧ください。

<https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/detail/00152030.html>

